

S-Stage キット 取扱説明書

製品番号 01-05-501H (B-TYPE)

適応車種 モンキー/ゴリラ (Z50J-1600008 ~ 1805927)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

使用燃料についてのご注意

S-Stage キットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。
レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。
キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換し、電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- ◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックス及びエアクリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起これ、重大な事故につながる恐れがあります。
- ◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

～特徴～

- ノーマル 50cc のシリンダーヘッドを使用したままで 88cc にボアアップが出来、HEAVY なエンジンフィーリングが体験出来るキットを NEW リリース。プラモデル感覚で EASY に組み上げて、楽しみながらエンジン構造の勉強が出来るストリートユースキットに仕上げました。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
 - 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
 - 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
 - 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
 - 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
 - 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- ※シリンダーヘッドは、必ず規定トルクで増し締めを行って下さい。
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

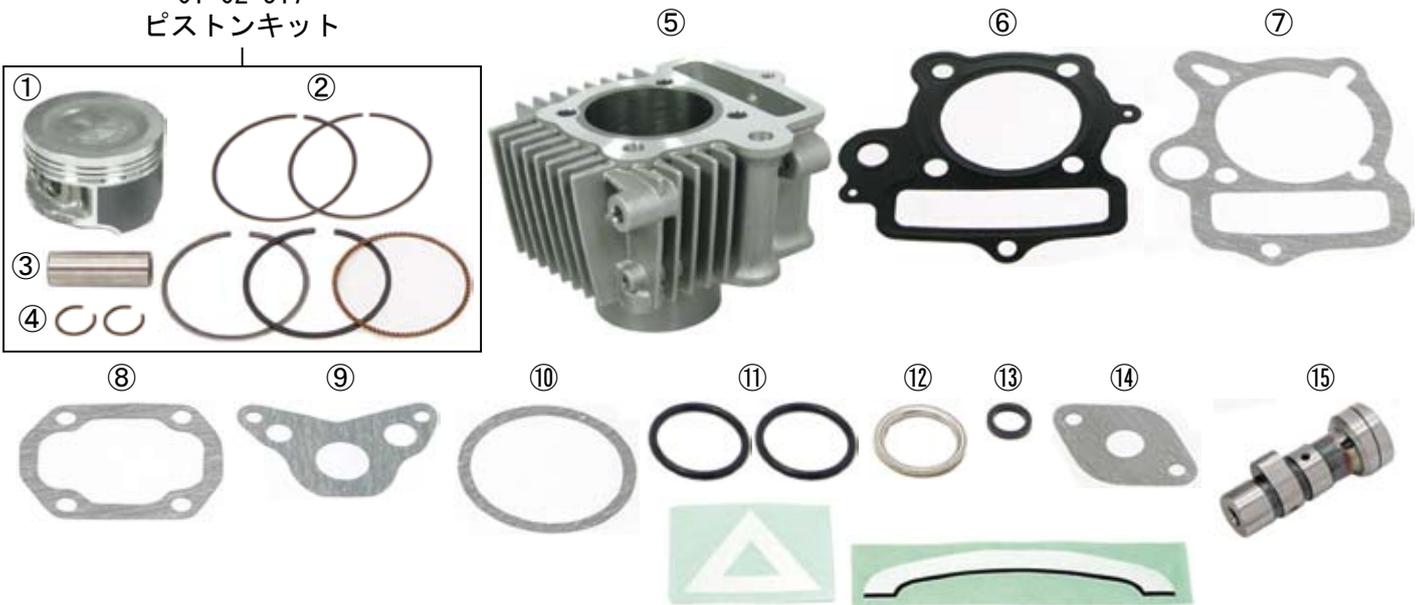
- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通風の良い場所で作業を行って下さい。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

01-02-517
ピストンキット

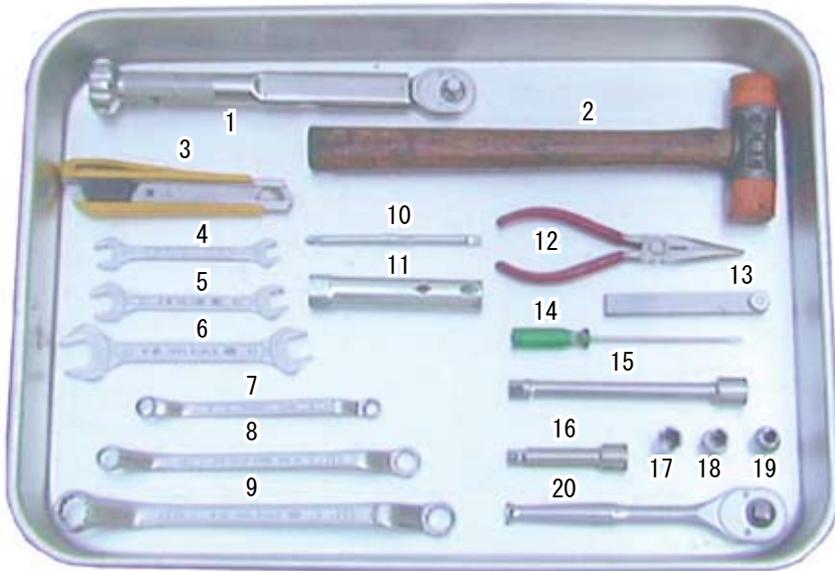


番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン	1	00-01-0014 (③ピン付)
2	ピストンリング	1	01-15-014
3	ピストンピン 13x36	1	00-01-0091 (④クリップ付)
4	ピストンピンサークリップ	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
5	シリンダー	1	01-01-0241H
6	シリンダーヘッドガスケット	1	00-00-1147
7	シリンダーガスケット	1	00-01-0067 (2ヶ入り)
8	ヘッドカバーガスケット	1	00-01-0156 (2ヶ入り)

番号	部品名	個数	リペア品番
9	右サイドカバーガスケット	1	00-00-1182
10	左サイドカバーガスケット	1	00-01-0158 (2ヶ入り)
11	タペットキャップOリング	2	00-01-0034 (4ヶ入り)
12	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0064 (2ヶ入り)
13	ラバーパッキン	1	00-01-0066 (2ヶ入り)
14	インレットパイプガスケット	1	00-01-0159 (2ヶ入り)
15	カムシャフト	1	01-08-034

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

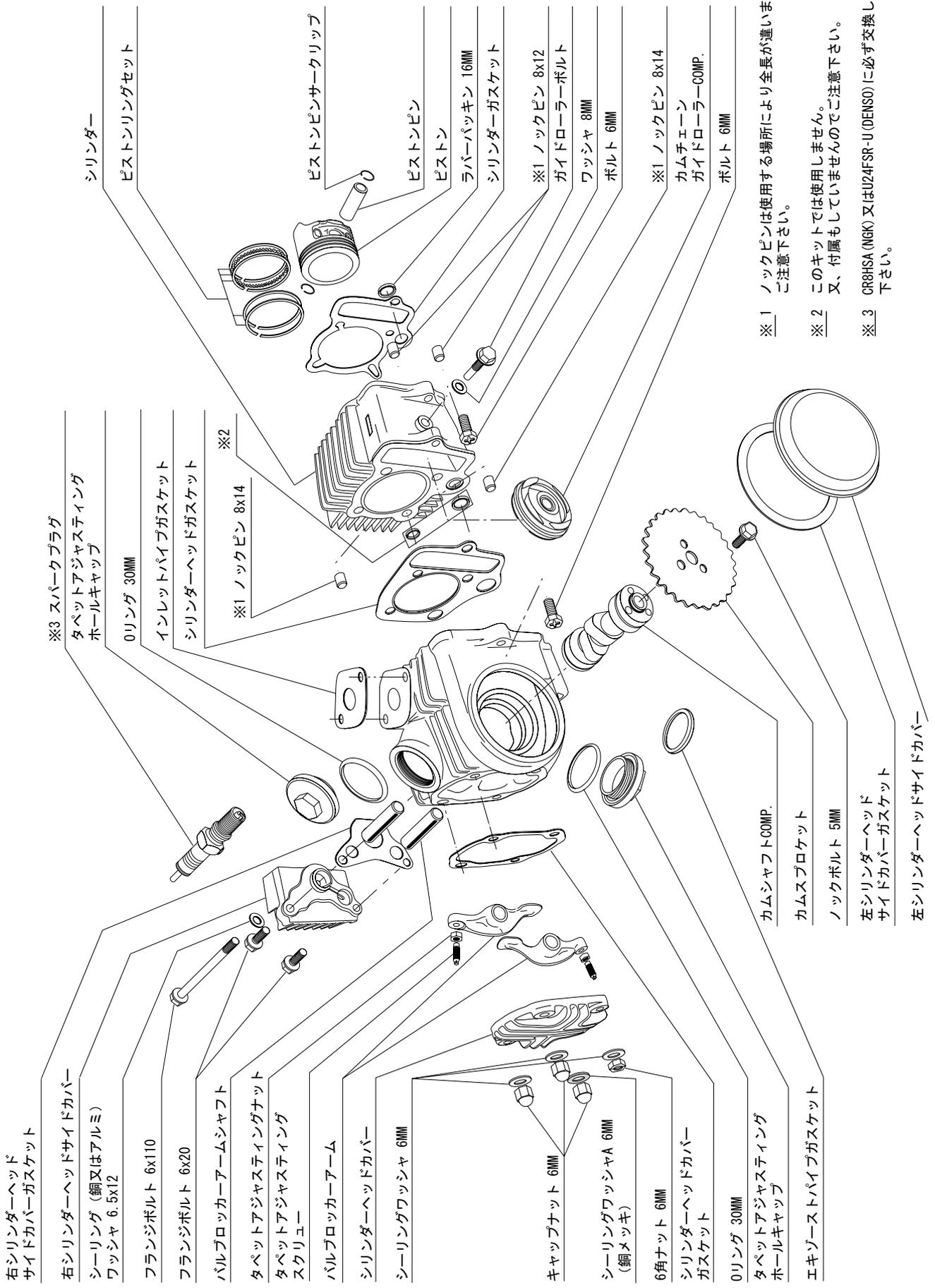
取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ
2	プラスチックハンマー
3	カッターナイフ
4	スパナ 8-10
5	スパナ 10-12
6	スパナ 14-17
7	メガネレンチ 8-9
8	メガネレンチ 10-12
9	メガネレンチ 14-17
10	プラグレンチハンドル (車載工具)
11	プラグレンチ (車載工具)
12	ラジオペンチ
13	シクネスゲージ
14	マイナスドライバー (極細先)
15	ジョイント (中)
16	ジョイント (小)
17	ボックスレンチ 14mm
18	ボックスレンチ 12mm
19	ボックスレンチ 10mm
20	ラチェットレンチ

ボルトについて

- 普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。
- ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まる場所まで締めましょう。1～2回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
- ネジを緩めると言う事は、締まっている状態から反時計方向へ3～4回転回す事を言い、取り外すという事は反時計方向へネジが取れるまで回す事を言います。
- ネジを締めると言う事は、ネジが緩まないようにする事を言います。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意する事の出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみてください。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてどれぐらいの力で締めるのか・折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
- 工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。



- ※1 ノックピンは使用する場所により全長が違います。ご注意ください。
- ※2 このキットでは使用しません。又、付属もしていませんのでご注意ください。
- ※3 CR8HSA (NGK) 又はU24FSR-U (DENSO) に必ず交換して下さい。

●ご使用前に

①お願い

- ◇一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
※原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。
- ◇キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

②使用燃料について

- ◇燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
- ◇燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

③スプロケットの変更

- ◇当製品を取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて扱いにくい状態になります。また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ/ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギア化を各自で行って下さい。
- ※スプロケットはキット内に含まれておりません。
- ※スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。
- ※ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。レーシングスタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

S-Stage B タイプ 推奨スプロケット (体重 65kg 時)

車種	仕様			推奨スプロケット	
	リアホイールサイズ	クラッチ	トランスミッション	ドライブスプロケット (フロント)	ドリブンスプロケット (リア)
6V モンキー・ゴリラ	8 インチ	マニュアル	4 速	15	25

- ◇ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くす事が出来ない、または足りなくなる場合があります。チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。スイングアームの長さによりチェーンの長さも変わります。

●更なる性能を発揮させるために

① キャブレター

S-Stage の出力を有効に引き出す、車種専用のビックボアキャブレターキット (品番 : 03-05-0056) を取り付ける事により、更なるパワーアップが可能です。

② マフラー

更なるパワーアップには弊社製各種マフラーをご使用下さい。

③ オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し、各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプ (品番 : 01-16-0059) の装着をお勧めします。

④ オイルクーラー

エンジンに長時間の負荷を与える走行はエンジン発熱量が更に増大します。油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお勧めします。

○詳しくは、弊社総合カタログ又は WEB カタログにてご確認下さい。

<http://www.takegawa.co.jp>

●純正部品の取り外し

○キャブレターを取り外す

◇ガソリンタンク左下部にあるガソリンコックをOFFにする。



◇シリンダーヘッドとインレットパイプを止めているボルト2本を反時計方向に回し取り外す。



◇エアクリーナーステー部のボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇フェューエルホースと大気ホースを取り外す。



◇スロットルケーブルを取り付けたままキャブレター ASSY. を車体から離し左前方のウインカーに引っかけておく。

○マフラーを取り外す

◇EXパイプ部のナット2個を反時計方向に回し取り外す。



◇マフラー本体を止めている6角ボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇マフラー本体裏側に止まっているナットを反時計方向に回し取り外す。



◇フランジのカラー2個を取り外し外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。



○フロントフェンダーを取り外す

◇フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を反時計方向に回し取り外す。



○スパークプラグを取り外す

◇プラグキャップをプラグから引張って取り外す。必ずキャップ部分をつかんで引張って外す。

◇プラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取り外す。



○シリンダーヘッド左カバーを取り外す

◇シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルトを外すと左カバーが外れる。(ボルトを外しても外れない場合6角ボルトを2~3山ねじ込み6角ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)



○クランクケース左カバーを取り外す

◇シフトペダルの6角ボルトを外しシフトペダルを反時計方向に回し取り外す。



◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を反時計方向に回し取り外す。



○タペットキャップ2個を取り外す

◇タペットキャップ2個を反時計方向に回し取り外す。



○カムスプロケットを取り外す

◇フライホイールのTマークとカムスプロケットの0マークが各切り欠きに合う様にフライホイールを反時計方向に回転させて合わせる。



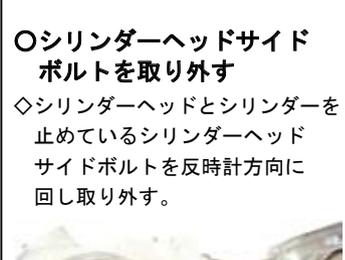
◇フライホイールを固定しカムスプロケット6角ボルト3個を反時計方向に回し取り外す。



◇カムシャフトワッシャを取り外す。◇カムプロケットを小型のマイナスドライバー等でこじて、カムシャフトから外す。



◇カムチェーンをカムスプロケットから外してカムスプロケットを取り出す。

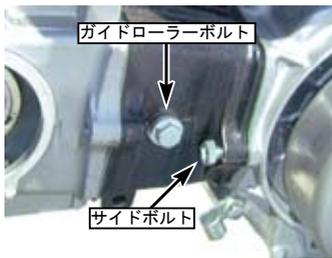


○シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す

◇シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシリンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



◇シリンダーのガイドローラー
ボルトとシリンダーとクランク
ケース間のサイドボルトを反時計
方向に回し緩める。



○シリンダーヘッドカバーを 取り外す

◇シリンダーヘッドカバーを止めて
いるナット4個を対角の順番に
反時計方向へ回し取り外す。
◇ナット下にあるワッシャー4枚を
取り外す。



◇ヘッドカバーを取り外す。
(かたい場合はプラスチック
ハンマーで軽くたたき、取り外す)
シリンダーヘッドにガスケットが
残った場合は、スクレーパーか
カッター等できれいに取り除く。



○シリンダーヘッドを取り外す

◇フロントタイヤの空気を抜く。
(ブラスドライバーの先などで
バルブを押すとエアが抜ける
のでシューという音が出なく
なるまで押し続ける。)
◇シリンダーヘッドをシリンダー
から前方へ引っ張って取り外す。
(かたい場合はシリンダーヘッドを
プラスチックハンマーで軽く
たたき、取り外す)



◇フロントタイヤを押しながら
シリンダーヘッドを取り外す。
◇ノックピン2個は再使用するの
で取り外しておく。



○シリンダーを取り外す

◇緩めておいたガイドローラー
ボルトとシリンダーサイドボルトを
反時計方向に回し取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。
(かたい場合はプラスチック
ハンマーでシリンダーを軽くたたき、
取り外す)



◇シリンダーを抜く途中でカム
チェーンガイドローラーが出て
くるので取り外す。



◇ピストンが抜けたらタイヤを手で
押さえながらシリンダーを前方へ
取り外す。



○ピストンを取り外す

◇クランクケースのシリンダー
ホールとカムチェーン部にゴミや
部品などを絶対落とさないよう
にウエスを詰め込む。



◇ピストンサークリップの片側を
取り外す。
ピストンピン穴の切り欠き部を利用
してこじるようにすると外れる。



◇ピストンピンをピストンサー
クリップが付いていない方向へ
取り外す。ピストンサークリップの
付いている方向からマイナス
ドライバーで押すと簡単にとれる。

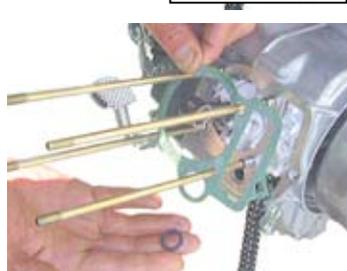


◇ピストンを取り外す。



○シリンダーガスケット・ラバー パッキン・ノックピンを 取り外す

◇ガスケットがきれいにはがれない
場合、クランクケースにキズを
入れないようにスクレイパーや
カッターできれいにがす。
この時クランクケースセンター
ガスケットがシリンダーベース面や
シリンダーホール部にはみ出て
いる場合は切り取っておく。
クランクケース内にゴミや部品
などを絶対落とさないように。



◇写真の指さし部にはみ出ている
ガスケットがあれば切り取って
おく。

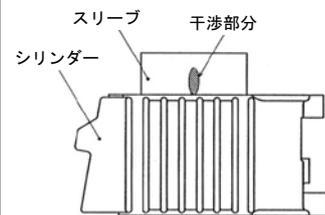
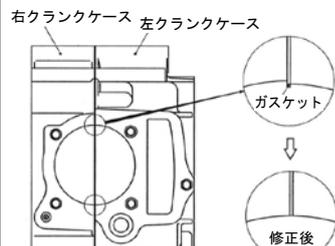


◎アルミシリンダー取り付け 時の注意

◇左右クランクケースのズレ等
により、シリンダーを取り付ける
際、クランクケース合わせ面の
スリーブ穴、丸印部分とシリンダー
スリーブの斜線部分及びケース
内部で干渉する場合があります。
そのままの状態で使用すると
スリーブが変形しエンジン
トラブルの原因となりますので
必ず点検、修正して下さい。

◎修正要領

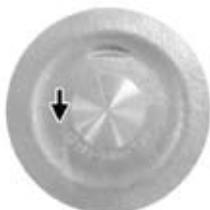
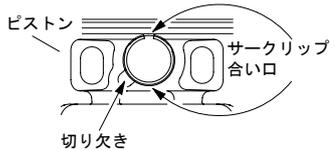
1. クランクケース内に削り粉が
入らないようにしっかりと
ウエスを詰める。
2. クランクケース合わせ面のズレの
出っ張っている部分を引っ込んで
いる部分と同じ高さになるまで
ヤスリで削ります。
3. 削り取ったら削り粉がクランク
ケース内に入らないよう慎重に
ウエスを取り除く。
4. ウエスを取り除いた後は、
きれいなウエスをクランク
ケースの穴に詰めておく。
5. キットの組立が終わって、
エンジンをアイドルで数分
かけた後、すぐにエンジン
オイルを新品に交換する。



●S-Stageキット取り付け

○ピストンの組み付け

◇ピストンの片側に付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付け。

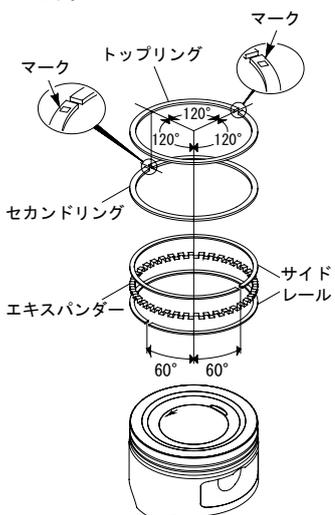


左側

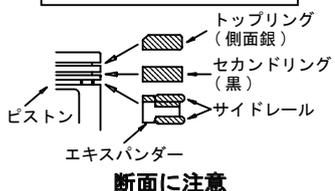
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。

◇ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

◇ピストンリングの合い口をそろえる。



トップリングの上面及びセカンドリングの上面には印字があります。



◇オイルリングエキスパンダーを入れる。



◇下オイルリングサイドレールを入れる。



◇上オイルリングサイドレールを入れる。



◇文字面を上にしてセカンドリングを入れる。



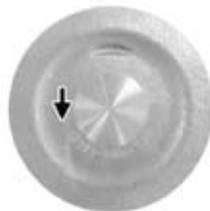
◇文字面を上にしてトップリングを入れる。



◇ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを塗りピストンピンを取り付ける。



◇ピストンヘッド部矢印マークの先を下(エキゾースト側)になる様にしてピストンを取り付ける。

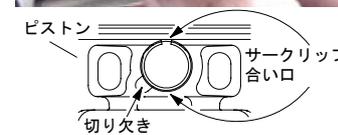


エキゾースト側

◇ピストンに三分の一程度ピストンピンを挿しておいて取り付けるのも簡単な方法ではある。



◇付属のピストンピンサークリップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。この時、サークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストン上下方向に向けて取り付け。



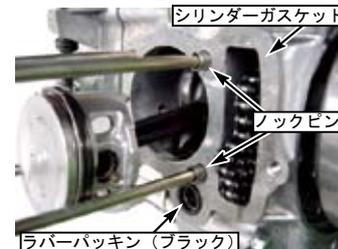
◇ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられる。※押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまう事があるので慎重に行う事。

◇詰めていたウエスを取り外す。

○シリンダーの取り付け

◇シリンダーベースガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。

◇ノックピンB(長さ12mm)2個が付いているか確認し、シリンダーガスケットとラバーパッキン(ブラック)を1個取り付ける。



◇キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げる。



◇タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく。



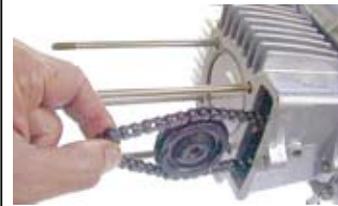
◇シリンダーをピストンリングの合い口がずれない様しながら指で押し少しずつはめる。



◇リングがシリンダーに入ったらカムチェーンをシリンダーに通しシリンダーをクランクケースにはめる。



◇カムチェーンを引っ張りながらガイドローラーを入れる。



◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーのセンターが合う様に押し込み、シーリングワッシャーとガイドローラーボルトを取り付ける。(指で閉まる程度まで仮止め)



◇シリンダーサイドボルトを取り付ける。(指でしまる程度まで仮止め)



○カムシャフトの交換

- ◇シリンダーヘッドに組まれているロッカーアームのタペットナットとボルトを緩める。
- ◇タペットナットを緩めた時点でタペットボルトをナットと一緒に取り外す。



- ◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを軽くたたきと抜けてくるので無理に引っ張らずカムシャフトを回しながら取り外す。



- ◇キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付けます。カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハンマー等でたたかず手で入れる。

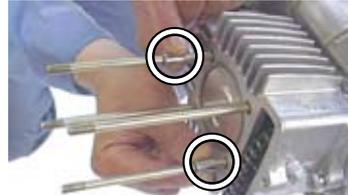


- ◇ロッカーアームのタペットスクリューを時計方向に回して取り付けます。



○シリンダーヘッド取り付け

- ◇シリンダーヘッド面とシリンダー上面をシンナー等で脱脂する。
- ◇シリンダーにノックピン2個を取り付ける。



- ◇ヘッドガスケットを取り付ける。



- ◇タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタットボルトに通す。
- ◇シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取り付けます。



- ◇カムチェーンはシリンダーの方に落ちないようにカムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れてカムチェーンを止めておく。



- ◇シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカバーを取り付ける。



- ◇矢印は下の方向です



- ◇ヘッドカバーのワッシャとナットを取り付ける。(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの3つは鉄ワッシャ、右下が六角ナット残りの3つが袋ナット)



- ◇ヘッドナットを均等に締め付ける。(トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっかり締める)

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



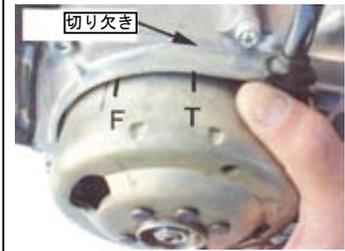
- ◇ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止めしていたガイドローラーボルトとシリンダーサイドボルトを締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)
サイドボルト上下
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○カムスプロケットの取り付け

- ◇フライホイールのTマークをクランクケースの切りかき部に合わせる。



- ◇カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向けた時、刻印が上になるようにセットする。それがカムシャフトの圧縮上死点です。



- ◇カムスプロケットをはめた後はボルトを取り付ける。カムチェーンにカムスプロケットをかけながらカムスプロケットの0マークとシリンダーヘッドの切りかき部が合う様にカムチェーンをはめてカムシャフトに取り付ける。



- ◇カムシャフトワッシャを取り付ける。
- ◇フライホイールを固定してカムスプロケットボルトを3本締め付ける。

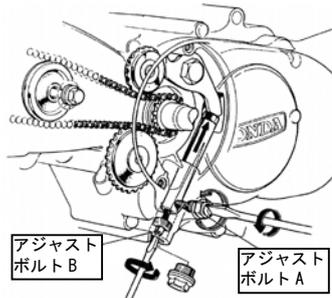
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
カムスプロケットボルト
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



○カムチェーンの調整

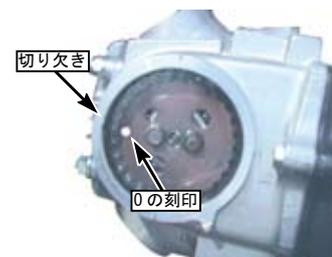
◆カムチェーンの調整を行った場合は、「点火タイミング点検」を行って下さい。

- ◇8mm ナットを緩め、アジャストボルト A を緩めれば、スプリングにより自動調整されますが、カムチェーンの張りが十分でない場合はアジャストボルト A を緩めたままアジャストボルト B を徐々に締め込み、フライホイールを回しても、カムプロケットとのガタが無い程度に調整を行う。
- ◇アジャストボルト A を締め込み、8mm ナットを締め込む。



○バルブタイミング調整とタペット調整

- ◇カムシャフトの0マークとフライホイールのTマークがそれぞれの切りかきに合うようにして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムプロケットを取り付けてTマークと0マークが同時に合えばOK。



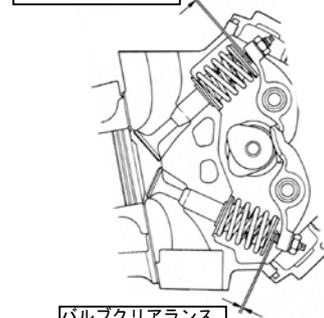
シリンダーヘッド側



フライホイール側

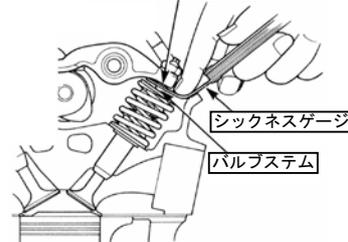
- ◇ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れてアジャストスクリューを締め込んでいき、少し抵抗があるくらいでシクネスゲージが引き抜ける様に合わせてアジャストナットを締め付ける（少し抵抗があるというのがわからない場合は0.07と0.03のシクネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03が緩めに入る様に合わせれば、だいたい0.05ミリという事になる）IN、EX共に0.05ミリに合わせる。

バルブクリアランス (インテーク側)



バルブクリアランス (エキゾースト側)

アジャストスクリュー



シクネスゲージ

バルブステム



- ◇タペット調整後、反時計方向にフライホイールを2回転手で回した後でTマークと0マークを合わせる。



- ◇タペットすき間が変化していないか点検しすき間が合っていればOK、くるっている場合は調整する。



- ◇タペットキャップ2個を取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
タペットキャップ
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○シリンダーヘッド左カバー取り付け

- ◇シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カバーを取り付ける。
(左サイドカバーがボルトを締めた時に右回りしないように回り止めを合わせる)



- ◇シリンダーヘッド右側の6角ボルト(矢印)を締める。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○スパークプラグの取り付け

- ◇プラグレンチを使いプラグを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
プラグ
トルク：11N・m (1.1kgf・m)



- ◇プラグキャップをプラグに取り付ける。

○ノーマルマフラーの取り付け

- ◇マフラーは、先にテールパイプをリアショックの内側を通しフランジ部分をシリンダーヘッドの排気出口付近まで持っていく。



- ◇フランジのカラー2個をエキゾーストパイプを挟み込むようにして取り付ける。



- ◇EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め)

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ◇マフラー本体裏側にナットを取り付ける。(仮止め)

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇マフラー本体を止めている6角ボルトを取り付ける。(仮止め)

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)



◇仮止めの3ヶ所を締め付ける。

○ノーマルキャブレターの取り付け

◇エアクリーナーステー部のボルトをアース線と共締めで取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇フューエルホースと大気ホースを取り付ける。



◇インレットパイプにOリングが付いている事を確認する。



◇シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止めているボルト2本を取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇フューエルコックをONにする。



○クランクケース左カバーの取り付け

◇クランクケース左カバーを止めているボルト3本を取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇チェンジペダルを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
チェンジペダル
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○フロントフェンダーを取り付ける

◇フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を締めて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇タイヤの空気を入れる。

◇エンジンから足廻りまで取り付けしたボルト類に緩みがないかチェックする。

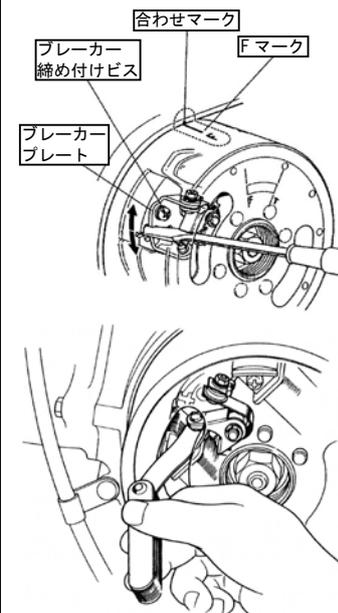
○点火タイミングの点検、調整

◇点火タイミングがずれていると、本来の性能を発揮しない上に、重大な故障にもつながる恐れがあります。点火タイミングの点検と調整を行う事をお勧めします。ご自分で出来ない場合は、バイクショップ等で点検する事をお勧めします。

◇タイミングライト (08-02-0023) を用いて、アイドリング時にフライホイールの 'F' マークとクランクケースの合わせマークとが合っているか確認する。



◇調整はブレーカー締め付けビスを緩め、ブレーカープレートを少しずつ動かして行う。



◇調整を行った後に、クランクシャフトを回してポイントの隙間が一番開く位置に合わせ、シクネスゲージでその隙間を測定する。
ポイント隙間 0.3～0.4mm
範囲外の場合はポイントの交換をする。